

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【熊本県】

1 実践テーマ	【Ⅲ】	パラリンピックへの興味・関心を高める
2 実施対象者	熊本県玉名郡南関町立南関中学校 全校生徒（188名）及び職員（20名）	
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）	
4 目標 (ねらい)	○パラリンピック選手の講話や競技を通じて障がい者に対する理解・人権意識を高め、自分の生き方を考える機会とする。 ○車いすテニス競技の体験を通して、2020年東京大会への関心を深める機会とする。	
5 取組内容	(1) 講師紹介 (2) 講演会（60分） ○川野将太【車いすテニス（クアードクラス）：ロンドン大会ダブルス4位、リオデジャネイロ大会シングルス16位、ダブルス8位】を迎え、生徒向けの講演会を実施した。講演では、「挑戦」をテーマに、自分は何がしたいのか、何ができるのかということを生徒達に考えさせる内容を、川野氏自身の経験を踏まえてお話しいただいた。（バイク事故で頸椎を損傷し、リハビリ生活・友人の支えがあり20歳から車いすテニスを始められた経験）また、友人やたくさんの方の支援があり、パラリンピックに出場できたことやどんな考えを持ち、練習を重ねてきたかを中心にお話しいただいた。 (3) 車いすテニス体験 (4) 生徒からの質問コーナー (5) 生徒代表からのお礼の言葉	

【川野 将太さん（車いすテニス）講演会の様子】



(講演会)



(車いすテニス体験)



(車いすテニス体験)



(全員集合写真)

<p>6 主な成果</p>	<p>○パラリンピアンからの講演や質問コーナーでの話を聞き、今後の自分自身のあり方について考えるきっかけを設けることができた。          ○パラリンピック競技についての知識を得たことにより、2020東京大会への興味・関心を高めることができた。          ○車いすテニスを体験できたことで、操作だけでなく、車いすを使用してスポーツを行うことの難しさを体験することができた。          ○本校には、特別支援学級が3クラスあり、1学級は肢体不自由学級である。その学級の生徒も車いすテニスの体験ができ、その後の南関町 A-Life 支援の保健体育の授業にも意欲的な取り組みが見られた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○事前に、川野選手の紹介を各学級で紹介してもらった。          ○車いすテニス体験をするにあたり、部活動（ソフトテニス部）所有を利用した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○車いすテニス体験をするにあたり、本校に硬式テニス部がなく、ラケットや競技用の車いすを川野選手に持参していただいた。          ○体育館にEVがなく、講師の移動を人力で行った。(安全面の課題)          ○講師の確保や時間の確保が学校行事とのからみで難しい場合がある。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>来年度以降も実施予定          例年と同様にオリンピックか、パラリンピアンからの講演及び競技体験の実施を行っていく。</p>